

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2004年放送分](#) > 4月24日放送分 会津の伝統をルネッサンス！～現代の暮らしにうるしの美～

4月24日放送分 会津の伝統をルネッサンス！～現代の暮らしにうるしの美～

24日(TX・TVO・TSC)

25日(TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVQ・OTV) 26日(BSJ)

今では伝統工芸品以外で使用されることが稀になってきた漆だが、近代までは優れた天然塗料として重宝された素材であった。福島県の株式会社坂本乙造商店(資本金4,500万円、従業員数8名)は、漆の特長に着目し、飛行機の内装からインテリア用品まで、様々な利用方法を提案。伝統にとらわれない幅広い分野で、再び漆に活躍の場を与えた同社の温故知新とも言える事業活動を紹介する。

会津の伝統をルネッサンス！

～現代の暮らしにうるしの美～

[視聴覚教材No. TV16-4](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



会津の伝統工芸と言えば漆器。今日は、伝統の漆塗りを現代の暮らしに生かそうと頑張っている会社を訪ねます。

こちらは株式会社坂本乙造商店の坂本社長。お店の商品を眺めてみると・・・



お椀などに混じって、漆塗りのハンドバック



100年後には伝統になるかもしれないものを作りたいと社長は自らの取り組みを語る。

などほかでは見られないものがたくさん。



15年程前から始めた漆塗りのアクセサリは社長夫人のデザイン。今では売上の40%を占める同社の主力商品だ。



漆工業品を製造しているセクションでは、金箔を張ったカメラなど、伝統の職人技とは違う様々な試みをしている。



漆や金箔といった伝統を現代に少しでも役立てたいと社長は語る。



POINT: 「伝統を現代に生かす」



伝統を現代に生かすには、昔からの知恵も守っていかねばならない。今日は、明治時代から続く漆の精製を見せてもらう。



同社では、漆の精製から製品の製造まで一貫して行っている。漆の原料を持っていることも強みの一つ。

POINT: 「うるしの原料を持っているから 応用ができる」



新技術の研究で協力したのが会津大学短期大学の須藤教授。坂本社長は発想力が豊かで実行力もあると賞賛。



いま新しく取り組んでいるのは金属を塗装する金属溶射。高度な漆の塗りの技術を



他の塗装技術に応用している。

現代の技術を取り入れながら、世の中に取り残されないようにしたい。漆の技術を残すために現代に追いついて行くと坂本社長は胸中の思いを熱く語った。

POINT:「うるしの技術を使って次々と新技術を開発に挑戦」



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN